

マンガ「しまづはるか 若い視点で未来を創る」

「ギインって何しているの?」「高砂市議会ってどうなの?」という疑問をマンガで紹介します!



後援会員募集!

しまづはるか後援会では後援会員を募集しています。応援の気持ちをぜひお届けください。下記連絡先までご連絡いただければ幸いです。

しまづはるか後援会

〒676-0071 高砂市伊保東2丁目2-23
TEL/FAX:079-439-2733
Mail:shimazu.takasago@gmail.com



<Facebook:島津明香>



<ブログ>

We♥高砂 高砂市議会議員

しまづ はるか 市政報告

News 21号

若い視点で
未来を創る








プロフィール

島津明香/しまづはるか 30歳

1987年高砂市生まれ。伊保小学校・竜山中学校・岡山白陵高校を経て、関西学院大学文学部・一橋大学商学研究科で学ぶ。2014年高砂市議会議員選挙にて、2658票を獲得し初当選。

しまづはるか -1 期目 通信簿- (選挙公報版)

※前進をしたものも、しまづはるかの主張のみで実現したわけではありません。議会議員には執行権はなく、提言することしかできません。これらの実現は、他の議員の方々の主張ももちろんのこと、市長の決定や行政職員の方々の努力があって実現したものです。

	 市民が誇りに思える街	 公共施設が利用しやすい街	 安心して暮らせる街	 高齢者も暮らしやすい街	 女性が働きやすい街
選挙公報に掲げた項目	・高砂の文化・伝統を知る機会の増加を提言します。 ・高砂といえば〇〇!!というものを市民の皆さんと一緒に作っていくことを目指します。	・利用できる時間が限られる働く世代でも、役所や公共施設が便利に利用できるよう提言します。 ・公共施設に民間の視点も取り入れ、市民の皆さんがより充実した施設を利用できるよう提言します。	・市内の道路環境を整備し、車で行き来しやすい街を目指します。 ・コミュニティバスの利用しやすさを追求し、その他公共交通機関よりも便利に利用できるよう提言します。	・高齢の方が安心して自宅で生活できるよう、地域で支える仕組みづくりを目指します。 ・高齢の方でも元気に過ごしていただけるよう、福祉や医療の充実を目指します。	・働く女性が子どもを安心して預けられるよう、保育施設の充実を目指します。 ・女性らしさを職場で活かせるよう、活躍機会の拡充を提言します。
提言や意見 質疑等	・観光振興事業について本会議にて質疑しました。 ・プライダル都市・結びのまちといったコンセプトの整理を一般質問で提言しました。	・公共施設の予約について一般質問で提言しました。 ・指定管理者制度の改善について一般質問で提言しました。	・デマンド交通なども含めた市内交通について一般質問で提言しました	・地域包括ケアシステムにおける統合医療の推進について一般質問で提言しました。 ・その他、市民病院のあり方についても委員会で意見しました。	・延長保育や休日保育の充実について特別委員会で提言しました。 ・女性活躍の推進についての市の考え方を確認しました。 ・その他、女性活躍施策については本会議にて質疑しました。
現状に対する 所感	・文化や伝統の発信、シティブランドの醸成に向けて進行中です。今後、更なる発展を目指します。	・提言は行ったものの、具体的な動きにはまだ発展していません。今後も引き続き、提言していきます。	・提言は行ったものの、コミュニティバスについては具体的な動きにはまだ発展していません。市内道路については、補修が進められています。今後も引き続き、提言していきます。	・提言・意見は行ったものの、具体的な変化にはまだ発展していません。今後も引き続き、提言していきます。	・女性活躍に関する施策が増えるなど、国の政策も相まって施策が前進しました。今後、更なる発展を目指します。
評価	○	△	△	△	○

<凡例>◎：具体的に実現 ○：実現に向けて動いている △：現時点では進展なし

所感 平成26年9月告示の市議会議員選挙での選挙公報に掲げた項目については、様々な場で提言や意見、確認等をしてきました。しかしながら、実現については不十分なものが多くあります。4年間の議会活動を振り返るとともに、4年間の間に研修等で学んだ知見を加えて、今後も活動してまいります。

しまづはるか -活動方針- Policy

1. 未来志向

20年後、30年後の未来に責任が持てる世代だからこそできること

未来を見据えた課題解決を提言

インフラ整備・市内交通・公共施設の管理・行政窓口業務・福祉施策など20年後、30年後を想定しながら今すべきことを提言します。

2. 後の世代に負担をかけない

子どもたちや次の世代に先送りしないために

- ・子どもたちの育ちの環境を応援
- ・入念な財政チェックの実施。

3. 多様な社会に対応した政策提言

一人ひとりが輝ける高砂の実現に向けて

- ・高齢の方や障がい者にも対応したユニバーサルデザインの推進
- ・安定した収入を得られる環境づくりを提言
- ・市民と行政、企業などの協働を応援

※ユニバーサルデザインは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方です。